



安全大会

安全を最優先に

深松組(仙台市)

深松組(仙台市 深松努社長)は2日、仙台市の宮城県建設産業会館で2012年度の安全大会を開いた。約120人が



安全への意識を高め、無事故無災害での復興を誓った。

冒頭、あいさつに立った深松社長は、「震災という特殊な状況下であっても、安全に対する意識が欠如してはならない。品質、工期、すべてにおいて、最優先されるのは安全だ。家族のことを考えながら、事故は絶対に起こさないという決意で仕事に臨み、無事故で復旧・復興を進めよう」と呼び掛けた。

この後、安全衛生目標の発表や安全表彰などが行われたほか、菅野労働衛生コンサルタント事務所 菅野吉郎所長が「前進させよう安全衛生活動」と題して講演した。

安全大会

末尾の数字は開催日

無災害の復興決意

深松組

深松組(本社・仙台市、深松努社長)は、同市青葉区の宮城県建設産業会館で2012年度安全大会を開き、写真、約120人の出席者全員が無事故・無災害達成への決意を新たに示した。

冒頭、あいさつに立った深松社長は、「東日本大震災関連の復旧・復興工事が多く発注されている分、事故も増えている。『自分に万が一のことがあったら残される家族はどうなるか』と考えれば、危険の芽はつみ取れるはずだ。無



災害で地域の復興を成し遂げたい」と語った。

この後、協力会社でつくる深栄会の鈴木誠一会長のあいさつや、安全表彰に続いて、代表者が大会宣言を力強く読み上げた。